

先輩企画を実施しました！

12月15日（金）5、6時間目に、1年生を対象に、「先輩企画」という行事を行いました。これは、『様々な業種・職種で活躍中の本校卒業生を講師に迎え、学生時代の過ごし方、進路決定の経緯、就職活動での体験談、実社会における仕事の様子など、色々な話をしていただく』というものです。

「高校生までは幅広く知識を身につけておく」「行事にしっかり取り組む」「高校時代に打ち込める何かを持ったほうがいい」「語学をしっかり学ぶ」「海外に目を向ける」「成功の秘訣は失敗することである」「強い意志を持つ」「プレゼン能力をつける」「勝てるポイントを見つける」「社会の役に立つ」「人生はすごろく。でた目を見極め全力で進む」等々、先輩たちが発したメッセージは、社会というフィルターを通していただけに重みがあり、生徒たちの心にしっかり届いていました。

（なお、この授業は本校同窓会である紫芳会のご協力により実現しました。本企画にご協力いただき、ありがとうございました。）

《先輩企画》 講師紹介

A・B組

講師：田中 直子 先生（32期） 大妻女子大学食物学科

題：ミクロワールドに魅せられて

講義内容：大学の先生って、授業がないときは何をしているんだろう？そんな風に思っている人は多いのではないのでしょうか。大学教員ってどんな人になるんだろう？そんな疑問ももっともです。私たちの体の中で何が起きているのか、細胞でどんなことが起きているのか、ミクロの世界を目で見えるようにする技術を紹介しながら、私の生活の一端をご紹介します。

講師：早川 由章 先生（34期）（株）河合楽器製作所（加イ出版）

題：シゴトとは

講義内容：私は音楽に関係した仕事をしていますが、大学の専門は音楽ではありません。好きな（趣味の）音楽が仕事になりました。でもいいことばかりでもないのよね。好きなことをシゴトにすることのメリット、デメリットなどを講義の中から考えて欲しいと思います。

C・D組

講師：倉石 知亜 先生（36期）日本食品海外プロモーションセンター

題：製品開発という仕事

講義内容：味の素で基盤研究と製品開発を15年、コカ・コーラに転職して飲料の製品開発を12年、その間にバンコク、上海と2回の海外駐在を経験しました。そして今年の8月にJETRO（日本貿易振興機構）の中でできた新しい組織である日本食品海外プロモーションセンターに転職して日本の農林水産物や食品の輸出拡大に関わっています。製品開発という仕事をするようになったきっかけ、海外での仕事で自分がどう変わったか、日本の企業といわゆる「外資」での仕事や職務に関する考え方の違いなどをお話することで、後輩の皆さんが将来を考えるきっかけになればと思います。

講師：廣戸 健太郎 先生（40期）特許業務法人 志賀国際特許事務所・弁理士

題：立高時代に聞いたかったこと

講義内容：弁理士という現在の職業に就く前に、いろいろ遠回りをしてきました。自分の適性、他人のアドバイス、その時々環境等、様々な要因の結果として、現在の自分があるわけです。いまの社会的立場から振り返って、高校時代に聞いておけば良かったと感じる内容を話します。文理選択、大学進学、職業観、人生のやり直し等、皆さんが聞いて損のない話題を提供します。弁理士の仕事については本質的な部分のみお話しします。私も皆さんのお考えを伺いたいので、講義では質疑応答の時間を長めに取ります。私のプロフィールを事前に配布しておきますので、こんなことを聞いてみたいとイメージを膨らませておいてください。

E・F 系目

講師：高木 紀子 先生（36期） 清泉女子大学非常勤講師・青山学院高等部相談室カウンセラー
題：心理士とは？心理学とは？

講義内容：私は大学を出て事務職として勤務した後、ママさん学生として大学院に通い、臨床心理士としてあちこちで働いております。心理士ってどんな生活をしているのか？そもそも食っていけるのか？どうやって心理士になるのか？などなどをお話しします。さらに、日々の生活で知っておくと物事の見方が楽しくなったり深くなったりする心理学のエッセンスについてもお話できればと思っています。

講師：櫻井 直人 先生（57期）（株）キャリアデザインセンター
題：これからの時代の“キャリアデザイン”

講義内容：皆さんは、“キャリア”と聞いて、何を思い浮かべますか。皆さんは、どのような“キャリア”を歩みたいと考えていますか。AIや様々な技術の発達で、今まで常識と思われてきたことがことごとく覆る、そんな時代になってきました。だからこそ、これからの時代を生きる皆さんは何を意識して、何を大事にして活動していけば良いのか。そう遠くない将来訪れるキャリア選択に向けて、これからの高校生活をどう送って欲しいのか、私自身の学生生活～社会人に至るまでと、社会に出て多くの人のキャリア選択を見届けてきた立場からお伝えできればと思います。

G・H 系目

講師：石川 小百合 先生（38期）アヌエヌエ（医療機器販売）代表
題：しくじり先生の大奮闘記 社長になった今

講義内容：「人生とは〇〇〇〇を楽しむようなもの」

- ・高校卒業後、現在の社長業に行き着くまでにどんな体験をし、どんなことを考えてきたのか
- ・立高時代の経験がどのように役立っているのか
- ・慶応大学院に進み、医療介護業界において介護用品の店舗経営を選んだ理由
- ・勉強と同時に大切なこと
- ・人生の岐路に立った時の考え方、など・・・

これからはばたく立高生にエールを送ります

〇〇〇〇は何でしょう？

講師：加納 力 先生（39期）東京中央法律事務所・弁護士
題：憲法に定められた唯一の民間の職業－弁護士

講義内容：世の中に民間の職業は数多くありますが、その中で日本国憲法に書かれているのは弁護士だけです。なぜ弁護士だけ特別扱いされているのか、実際に取り扱った事例などにも触れつつ、弁護士の仕事についてお話しします。また、かつて最難関と言われた司法試験受験のエピソードなどもご紹介できればと考えています。



田中 直子 先生



早川 由章 先生



倉石 知亜 先生



廣戸 健太郎 先生



高木 紀子 先生



櫻井 直人 先生



石川 小百合 先生



加納 力 先生



生徒感想

講師：田中 直子 先生（32期） 大妻女子大学食物学科
題：マイクロワールドに魅せられて

・将来、薬学系の仕事に就きたいと考えているので、とても興味深くお話を聞かせていただきました。バイオイメージングの技術は、薬学にも通用するものだと思いますし、マイクロの世界の技術をもっと活用することで、様々な分野の可能性が広がると思いました。

・大学の仕事や仕組みなどわからないことが多かったけれど、今回のお話で詳しく知ることができました。最初の心筋細胞の研究のお話がとても興味深く、医学部の研究は面白そうだと思います。

講師：早川 由章 先生（34期）（株）河合楽器製作所（加1出版）
題：シゴトとは

・当時の立高のことや早川さんの今までの経験について知ることができた貴重な機会となりました。自分の好きなことを仕事にすることが、就職する上で一番幸せな形だと思っていましたが、早川さんの話を聞き、「趣味と仕事と同じものになることの苦勞」という新たな考えに触れることができました。これからは様々なことに興味を持ち、視野を広げて生活していこうと思いました。本日はありがとうございました。

・いろいろなものに興味を持ってそれに挑戦している姿勢がすごいと思った。進路を決めることは大事だけど、高校生の今は、せっかくいろいろなことに手を出せる時だから、あまり囚われすぎずに、いろいろなことに興味を持って生活したいと思った。ありがとうございました。

講師：倉石 知亜 先生（36期） 日本食品海外プロモーションセンター
題：製品開発という仕事

・倉石さんの話を聞いて、製品開発の仕事はもちろん、高校卒業後、何度も海外に旅行に行ったり、大学で自分のやりたいことをしたりと人生を楽しむとはこういうことをいうのだなと思いました。私たちは今、将来のために勉強をしているけれども、それはただ仕事をするためだとかお金を稼ぐためでなく、人生を有意義にするためなのだと思改めて思いました。だから倉石さんの生き方はすごくうらやましくなりました。

・今まで、商品開発と聞くと、味を研究するという部分のイメージしかありませんでしたが、商品をどのように売り込んでいくか、どのように海外進出をしていくかということも、商品開発の仕事であることを、今回初めて知りました。私は食のほうに少し興味があり、海外を相手にする仕事もやってみたいと考えているので、商品開発というのも自分の選択肢の一つにしていきたいなと思いました。貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。

講師：廣戸 健太郎 先生（40期） 特許業務法人 志賀国際特許事務所・弁理士
題：立高時代に聞いたかったこと

・東大に行ったらバラ色の生活が待っていると思っていましたが、努力の仕方や社会との関わり方によって変わるんだとわかりました。私は理系の分野に興味があるので、参考になりました。特許の分野も視野に入れようと思います。残りの高校生活では、自分が打ち込めることを見つけて、突き詰めていきたいです。また、その自分が打ち込めるものを大学でも研究できたら最高だなと思ったので、大学受験も頑張ります。本当にありがとうございました。

・「学歴が全てではない」「他人よりも自分に興味を持つ」「日本人が海外で活躍するためにはそれなりの努力が必要」「自分の人生は自分で決める」「失敗が成功につながる」「やりたいと思ったことはできる」「根拠がなくても自信を持つ」「その根拠をもてるようにするために努力をするのが大事」「何気ないアイデアが世のために役立つこともある」
目先のことでなく、人生を通してためになることをたくさん教えてもらえて、モチベーションが上がった。

講師：高木 紀子 先生（36期） 清泉女子大学非常勤講師・青山学院高等部相談室カウンセラー
題：心理士とは？心理学とは？

・心理学や心理士について、知ることができた。高木さんのこともわかったし、心理学についても面白かった。特に「ポアンカレ法」に興味を持った。解いている問題に行き詰まったら、別のことをしている間に思いついてしまうことがある。このことは立高の先生からも聞いたことがある。不思議だなと思う。実体験に基づいてお話し下さったのでとても楽しく学べた。ありがとうございました。

・友達と家族との関係の中で悩み事があったり、トラブルが発生してしまったりしたときに、個人の感情だけでなく、相手の感情や関係性のことも考えて解決していきたいと思いました。また、知識があると見える世界が変わるということで、様々なことに興味を持ち、さらに広い世界をみたいと思いました。現状に不満を言うのではなく、どうすれば良い生活が送れるかを考え、努力していきたいです。

講師：櫻井 直人 先生（57期）（株）キャリアデザインセンター
題：これからの時代の“キャリアデザイン”

・自分が今ちょうど大学を考えるために就きたい仕事を考えているので、とても勉強になりました。基本的に、自分の長けている点を活かせる職業というものを一番に考えていたけど、それだけでなく、“やっていて充実している”“好きと思えるかどうか”というものも考えなくてはいけないな、と思いました。また、私も櫻井先輩のように、人生計画を考えることが好きなので、「キャリアデザイン」というものに興味を持ちました。ありがとうございました。

・人生の岐路での選択は、自分で考え判断することがもっとも大事なことなんだと感じた。また、櫻井さんにおけるサッカーのように、「これはやりきったんだ！」という自信が、社会においても大切なんだと気づいた。僕も何かやりきったと言えるものを作りたい。

講師：石川 小百合 先生（38期） アヌエヌエ（医療機器販売）代表
題：しくじり先生の大奮闘記 社長になった今

・石川さんの人生の一部を聞かせていただいて、これから自分にはいろいろな困難があるだろうと思ったし、自分が思うほど甘くないんだろうなと感じた。でも、そのときには失敗したと思っても、貴重な経験になることもあると思えた。最近、「難しいな」と悩んでいることがあってへこんだりもしたけれど、そういうのも「いい経験」になればいいなと思う。あきらめずにもう少しだけ行動し続けてみようと思った。

・本日は貴重なお時間を割き、私たちのために講義をしていただきありがとうございました。とても有意義な時間となりました。私は今回の講義でもっとも印象に残ったのは、「とりあえず何かやってみる」という言葉です。私は将来医師になりたいのですが、学力がまだまだ足りず諦めかけていました。しかし、この言葉を聞き、「もう一度本気で勉強しよう」と奮い立たされました。これからの生活に今回の講義を糧にしようと思いました。

講師：加納 力 先生（39期） 東京中央法律事務所・弁護士
題：憲法に定められた唯一の民間の職業 - 弁護士

・私が今回もっとも驚いたのは、弁護士は必ずしも文系ではないということです。特に医療裁判で、カルテを読んだり、投与した薬についての知識が必要というところは、私の抱いていた弁護士のイメージを覆すものでした。様々な分野の知識が必要となる弁護士は大変そうだなと考えましたが、その分やりがいを感じられそうだなとも思いました。

また、事例を交えたお話はとてもためになりました。本日は本当にどうもありがとうございました。

・実は司法系の仕事にすごく興味があります。今まで司法系の職業は文系のみ勉強をすればよいと思っていましたが、医療ミスの例など、法律以外の知識も必要なのだとことがわかり、もっと勉強しなければと思いました。また、最後のアドバイスの「色々なところに行くこと」「本を読むこと」はとても心に響きました。たくさん経験をして、自分の将来に繋げようと思います。本当にありがとうございました。